

水に溶けにくい、
農薬と混用できない、
今までのケイ酸資材に
満足していますか？

正珪酸は
酸性水溶液なので
**混用や
様々な施用
が可能**

正珪酸は作物が
最も吸収しやすい
**オルトケイ酸
含有**

確かな技術で
**正珪酸を
業界で初めて
開発**



扱いやすく様々な作物に使えるケイ酸資材

せい けい さん
正珪酸

成分 オルトケイ酸 (Si(OH)_4): 1.7%※ **性状** pH: 2 (原液)
※Si分析値(ICP法)による換算

取扱店

規格: 500mL、1L、5L、10L
製造元 有限会社グリーン化学

作物の健全育成・品質向上・収量アップに正珪酸!

正珪酸の特長

- 「ケイ酸カルシウム」や「ケイ酸カリ」は難溶性や強アルカリ性のため、施用方法が限られたり酸性液資材との混用ができませんが、正珪酸は酸性水溶液のため様々な農薬や肥料等との混用が可能で、どのような方法でも施用できます。
- 一般的なケイ酸資材に含まれる「メタケイ酸 (H_2SiO_3)」に比べて、植物による吸収効率が高く、吸収スピードが速いといわれている「オルトケイ酸 ($\text{Si}(\text{OH})_4$)」を含有しています。
- オルトケイ酸含有資材を業界で初めて開発し、「正珪酸」として2003年より販売しています。2010年に特許を取得し、全国の生産者の方々にご愛用いただいております。

正珪酸の効果

- ケイ化細胞が増殖することにより光合成が促進されます。
- 根張りが向上します。
- 耐病性が向上します。
- 果実が肥大促進します。
- 組織が強化されることにより、日持ちを改善します。
- 食味が改善します。

使用方法

- 葉面散布(標準施用倍率1,000倍)もしくは灌水で使用します。

作物別使用事例



水稲

育苗期は苗が1.5～2.0葉期に1箱あたり1,000倍希釈液500mLを1回散布してください。
出穂後は2～3回1,000倍希釈液を10aあたり100L葉面散布してください。

- 育苗中の根張り向上
- 収量アップ



イチゴ

育苗期から収穫期まで10aあたり300～600mlを定期的に灌水もしくは1,000倍希釈液を1～2週間毎に1回葉面散布してください。

- 収量アップ
- 軟果防止
- 根張り向上
- 糖度アップ



果樹

落花直後から収穫期まで1,000倍希釈液を1～2週間毎に1回葉面散布してください。

- 食味改善
- 日持ちの向上
- 健全育成



トマト

育苗期から収穫期まで定期的に1,000倍希釈液を葉面散布もしくは灌水してください。

- 収量アップ
- 根張り向上
- 食味改善



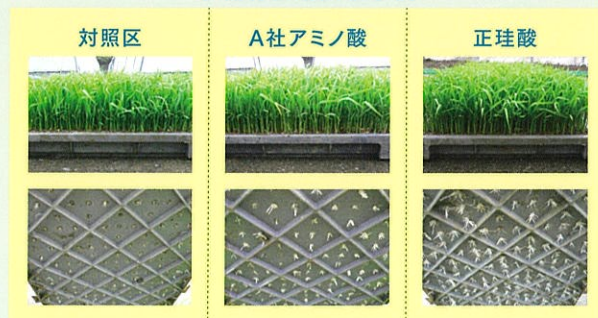
ネギ

育苗期から収穫期まで1,000～2,000倍希釈液を定期的に散布してください。

- 根張り向上
- 土寄せ時の根痛み回復促進

その他、根菜類・果菜類・葉菜類・果樹など様々な植物に使用できます。

水稲育苗期試験事例



正珪酸1,000倍、A社アミノ酸500倍で希釈散布し、9日後に撮影(新潟県、コシヒカリ)

●使用上のご注意

- 原液は強酸性ですので、取扱いに注意してください。
- 原液同士の混用はお止めください。希釈混用される場合には、事前に少量にて混用に問題がないことをご確認ください。
- 直射日光を避けて冷暗所に保管してください。
- 長時間放置しますと不溶性の化合物が生成しますので、10ヶ月以内に使い切ってください。